

岡山畜産便り

2013 4



高梁市 山室 尊則さん(養鶏)

も く じ

〔家保のページ〕	岡山県畜産関係者名簿 7
「岡山家畜保健衛生所 家畜鑑定課」の業務紹介	
岡山家畜保健衛生所	岡山県農林水産総合センター 9
家畜病性鑑定課 1	岡山県農業共済組合連合会 10
〔技術のページ〕	
ETを活用した和牛全共への取り組み	全農岡山県本部畜産部 11
岡山県農林水産総合センター	
畜産研究所	おかやま酪農業協同組合 12
改良技術研究室 2	一般社団法人 岡山県畜産協会 13
〔畜産現場の声〕	
安全・安心で消費者に喜ばれる	岡山県畜産関係各種協議会 14
卵生産をめざして	
高梁市 山室 尊則 4	〔ホットニュース〕
〔フレッシュ獣医師〕	(有)哲多和牛牧場が農林水産大臣賞を受賞
吉村 遥子 5	鳥取・島根・愛媛・岡山、畜産女性県外交流会 15

おいしい食品と健康を支える。人と環境の持続的発展に貢献する。

フタバ飼料株式会社

「お客様第一主義」 私たちは、畜産農家のみなさんと共に考え、行動します。

「品質の安全供給」 私たちは、質の良い飼料とサービスの安定した提供を実現します。

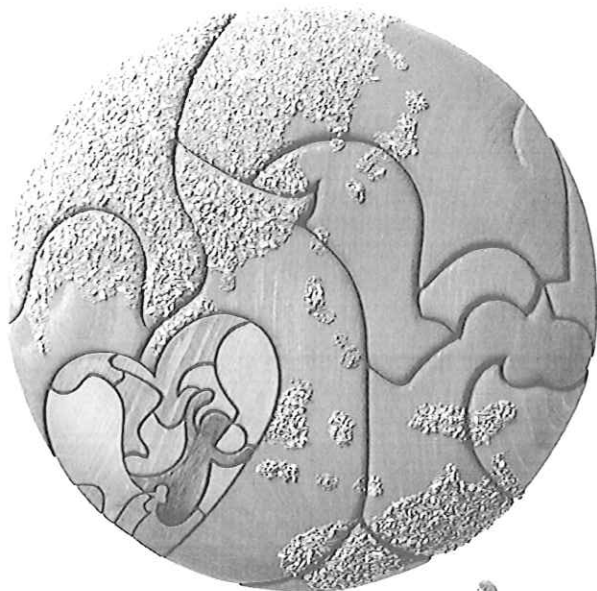
「食の安全確保」 私たちは、安心してできる原料と製造工程により、飼料と食品の安全確保に努めます。

「社会貢献」 私たちは、飼料の製造・提供を通じて、畜産農業の発展に寄与すると同時に、豊かな食生活と社会・地球環境の向上に貢献します。

「発展する職場」 私たちは、職場の安全と働きやすい環境づくりにつとめ、個人とその成長を助け合います。

体細胞・乳房炎でお悩み方、子牛の虚弱でお悩みの方、経営力強化「飼育管理向上」をご希望の方、ご連絡ください。当社製醗酵技術応用製品群 醗酵TMR各種・生菌混合飼料エコサポート麹・ナッキン液・フタバラクティス

岡山市東区瀬戸町万富1057-1 TEL 086-953-0832 FAX086-953-1870



生命をのせて回る地球に、潤い豊かな未来を届けたい。

ASCO

株式会社 **アスコ**

<http://www.asco.sala.jp>

国内広域展開の動物用医薬品ディーラー
人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します

本社

〒441-8021
愛知県豊橋市白河町100番地
TEL 0532-34-3821
FAX 0532-33-3611

営業所 所在地

- ・東北支店
仙台、古川、福島
- ・関東支店
児玉、前橋、松本、旭、茨城、栃木
- ・C A支店
大阪、京都、名古屋、東京、大宮
- ・中部支店
豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜
- ・中国支店
広島、福山、山口、岡山、米子

〔家保のページ〕

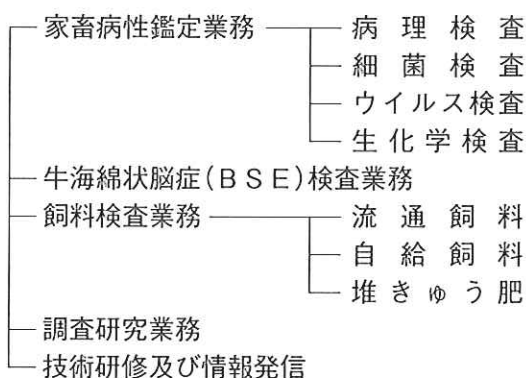
「岡山家畜保健衛生所 家畜病性鑑定課」の業務紹介

岡山家畜保健衛生所 家畜病性鑑定課

岡山家畜保健衛生所は、岡山市北区御津河内地内にあり、山林と田畑に囲まれ、近くには岡山空港、レスパール藤ヶ鳴、岡山大学津高牧場などがあります。

家畜病性鑑定課は、職員8名で業務を実施していますので、その業務を紹介します。

1 業務の構成



2 業務内容

(1)家畜病性鑑定業務（家畜疾病診断）

県下5カ所の各家畜保健衛生所において診断が困難な家畜の病気や高病原性鳥インフルエンザ、口蹄疫などの家畜法定伝染病について、病理学的、細菌学的、ウイルス学的、生化学的な精密検査と疫学情報を収集し、迅速・的確な診断を行い、家畜伝染病の発生とまん延防止に努めています。

(2)牛海綿状脳症（BSE）検査業務

畜産物の安心・安全確保のため24ヶ月齢以上で、病気や事故等により死亡した全ての牛についてBSE検査を実施し、県内の牛がBSEに対し清浄であることを確認しています。

(3)飼料検査業務（成分の分析）

流通飼料（飼料会社が製造、販売する配合飼料、飼料添加物など）について、安全性と品質確保のために成分分析と立入検査を行っています。

自給飼料（畜産農家などが作るサイレージ、乾草など）について、近赤外線分析器

により飼料中の粗タンパク質など5項目、化学的分析によりカルシウム、マグネシウム、リンなどの分析を行っています。

堆きゅう肥（畜産農家を作る堆肥など）について、近赤外線分析器により堆肥中の窒素など7項目、化学的分析により亜鉛などの分析を行っています。

これら適正な飼料給与と適正な施肥による良質自給飼料生産により、安全・安心な畜産物の生産促進に努めています。

(4)調査研究業務

ヒトにも感染するおそれがあり、養鶏産業に大きな被害をもたらした高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）のモニタリング調査、牛飼養農家に流産、死産、奇形子牛などの被害をもたらすアカバネ病、アイノウイルス病、チュウザン病などの抗体検査及びウイルス分離検査による異常産の流行予察調査を実施しています。これらの調査から、原因ウイルスの流行を注意深く監視し、病気が発生したときに迅速な対応ができるようにしています。

(5)技術研修及び情報発信

家畜疾病の原因究明、予防対策、診断技術の向上と普及を目指した研修会の開催、各種講習会での指導や技術情報の発信をしています。

さらに、畜産関係業績発表会、産業動物獣医学会等で研究成果を発表しており、平成24年度は「サルモネラ ティフィムリウム単相変異型を疑うサルモネラ菌属の遺伝子解析」、「新生子牛における歯肉の血管過誤腫」、「ワクチン接種鶏から分離された伝染性ファブリキウス嚢病ウイルス」の計3題を発表しております。

さらに、家畜病性鑑定課は、大学、（独）動物衛生研究所、民間の研究所等と連携しながら、県下の家畜保健衛生所の家畜保健衛生業務をバックアップしています。

E Tを活用した和牛全共への取り組み

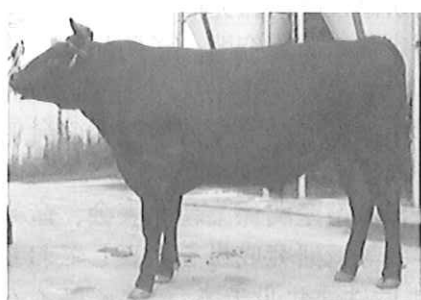
岡山県農林水産総合センター 畜産研究所 改良技術研究室

1. はじめに

平成24年10月に開催された『第10回全国和牛能力共進会長崎大会』において、岡山県の出品牛は、7区肉牛の部での全国第2位をはじめとして優秀な成績を収めました。そのうち、肉牛の部（7～9区）の出品牛は全て受精卵移植（E T）によって生産されており、積極的にE Tを活用して出品対策を行っているのが岡山県の特徴です。今回は、E Tを活用した肥育素牛生産の取り組みについて紹介します。

表1 枝肉成績

区	種雄牛	供卵牛	枝肉重量	BMS No.
7	新初英	あけぼのふじ11	465.1	10
		第8あきふじ	549.0	8
		第45たま8の1	438.9	8
8	盛利姫	第45たま8	430.7	11
		はなや122	482.5	7
		としさかえ6の1	403.0	7
9	新初英	さわしげ	493.6	9
		ひなた	419.5	5



7区
大島136号
父：新初英
母：あけぼのふじ11

2. E Tのメリット

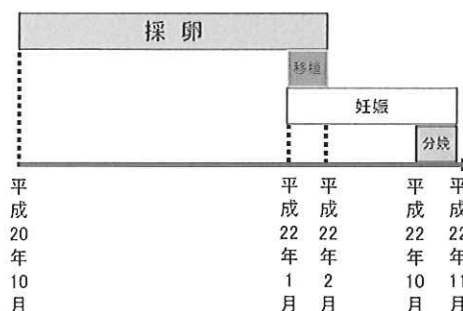
岡山県の和牛雌牛飼養頭数は約5,300頭で中規模の産地ですが、乳牛は約17,600頭飼養されています。優秀な和牛雌牛から受精卵を採取し乳牛へ移植すれば、人工授精よりも多くの産子を得られます。また、同じ交配の全きょうだいや異なる種雄牛をかけ合わせた半きょうだいを同じ時期に生産し、その中からよりよい1頭を選ぶことも可能です。さらに、受精卵の雌雄判別をしておけば、効率よく目的とする性別の産子を得られます。

和牛全共では24か月齢未満という出品条件があるので、効率的に出品牛候補となる肥育素牛を生産するのにE Tはとても効果的です。岡山県では、県内全ての家畜保健衛生所で採卵や受精卵移植のできる体制が整っており、以前から乳牛を借り腹とした和牛受精卵移植が積極的に行われてきました。そのため、和牛全共に向けた肥育素牛生産にもいち早くE Tを取り入れることができました。

3. 採卵

和牛全共長崎大会の4年前となる平成20年10月には出品候補となる肥育素牛の生産に向けた採卵がスタートしました。

表2 取り組みの流れ



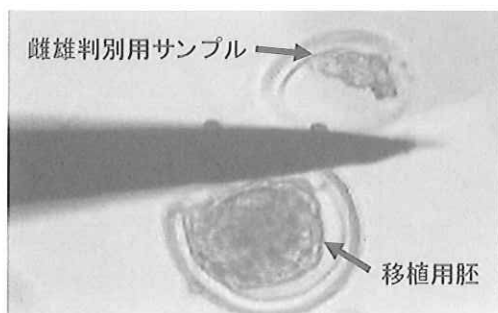
県北部を中心に、県下全域の農家と畜産研究所で飼育されている優良雌牛に出品候補種雄牛の「新初英」、「盛利姫」、「新糸藤」を交配して採卵をしました。農家では1頭あたり1回採卵をして34回、畜産研究所では1頭1回または異なる種雄牛を交配して複数回の採卵をして37回、計71回の採卵を行いました。農家では424個、所内では348個、合計772個の正常卵を採取しました。

表3 採卵結果

	採卵回数		正常卵数	
	所内	農家	所内	農家
新初英	19	24	171	277
盛利姫	11	9	67	147
新糸藤	11	1	110	0
合計	37	34	348	424
	71		772	

4. 効率的な素牛生産に向けた取り組み

肉牛の部は、24か月齢という通常より早い時期に肥育を仕上げなければならないので、雌牛に比べて仕上がりの早い去勢牛の方が有利です。そこで、雄子牛を効率的に生産するため、採取した受精卵の雌雄判別を行いました。また、雌雄選別精液を利用した採卵も行い、雄受精卵の確保を図りました。



雌雄判別用サンプルのカット

5. 移植

平成22年10月下旬から11月に分娩が集中するように、移植は平成22年1月から2月の短期間に行いました。雄受精卵を主として343卵を乳牛へ移植しました。その

うち、142頭が受胎して88頭の雄子牛が生まれました。

表4 移植成績と生産頭数

	移植頭数	受胎頭数	受胎率 (%)	生産頭数	雄子牛頭数
新初英	188	86	45.7	61	49
盛利姫	91	38	41.8	29	27
新糸藤	64	18	28.1	15	12
合計	343	142	41.4	105	88

6. 出品に向けて

生まれた雄子牛は、和牛繁殖農家で哺育・育成をされた後、肥育農家で出品に向けて肥育されました。関係機関で定期的に巡回指導を行いながら候補牛を育成し、最終的に8頭の出品牛を選抜しました。



巡回指導の様子

7. おわりに

E Tを活用した出品牛生産は、採卵をする和牛繁殖農家から受精卵を移植する酪農家へ、酪農家から哺育・育成を行う和牛繁殖農家へ、和牛繁殖農家から肥育農家へと順々にバトンを渡していきます。多くの方々の協力によって成り立っており、誰が欠けても良い成果は得られません。平成29年に開催される『第11回全共宮城大会』にむけた採卵が本年度から始まります。農家や関係機関の方々の特段のご理解とご協力をお願いします。

〔畜産現場の声〕

安全・安心で消費者に喜ばれる卵生産をめざして

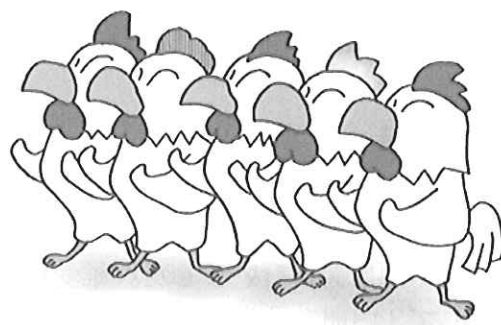
高梁市川上町仁賀 山室 尊則

私の農場は、岡山県中西部の中山間地にあり、周囲は自然に囲まれ、素晴らしい環境です。鶏舎は、太陽の光が差し込み、風が吹き抜ける開放鶏舎です。このような環境の中で、鶏はみんな元気に育っています。鶏は雛から成鶏になるまで我が子同様、手塩にかけて立派に卵を産むよう育てています。

卵を集める際には1個1個手で集めて、卵や鶏の状態をチェックしています。

また、親鶏に与える飼料はこだわりの配合飼料です。PHF・Non-GMO トウモロコシを始めとして厳選されたものを使用しています。

近年、飼料代の高騰等のコストアップで経営は厳しくなっています。消費者の皆様には、よい卵を作るためにコストがかかることをご理解いただき、安全なたまごを安心して召し上って、そして「おいしい」と言って頂けるよう、毎日頑張っています。



〔フレッシュ獣医師〕

「フレッシュさんの声」

北部基幹家畜診療所 吉村 遥子

学生の頃イメージしていた“仕事”といえば、背広やお洒落な服、おしゃれな髪型で、上品なアクセサリを身に付けて出かけ、静かに満員電車で揺られ、いつも定刻に通勤する、というイメージでした。

今は、定時に出勤はするものの、朝私なりに一生懸命したつもりのお化粧は、ほぼ毎日、1件目の農家さんで糞が顔に付いて顔を洗うため、ほとんど取れてしまいます。珍しく朝一で往診に行った農家さんに、「あら、今日はメイクしているのね。」と言われたこともありました。

牛の獣医になろうと思ったきっかけの1つに、農家さんのイキイキとした表情、笑顔がありました。農家さんの仕事を間近でみていて、体力的にも経営的にも精神的にも厳しいことは多々あるようですが、それでもあらゆる試行錯誤を繰り返しながら、イキイキ仕事をしている姿は、本当に素晴らしいと改めて思います。

また、農家さんだけでなく、牛の表情や性格も十人十色であり、それもすごく面白くて楽しく、この仕事の魅力の1つであると感じています。

私の心をほっと癒してくれる牛の様子に、健康な子牛が楽しそうに飛び回っている様子、具合が悪かった牛が手術の翌日、可愛い顔をして反芻している気持ちよさそうな様子、餌を貰う時のゴリラのようにワタワタする様子、一生懸命無心で餌を食べる様子、興味津々で色々なものを舐めて確かめて満足する様子、そして、話しかけると向けてくるつぶらな瞳、などがあります。たまには、聴診していると幅寄せして押し潰そうとしてきたり、大きな頭で頭突きをしてくるたくましい牛もいれば、ちょっぴ

り触っただけで火がついたように暴れまわるビビリ牛もいます。それも含めて、毎日色々な牛との新しい出会いがあり、違った毎日を過ごすことができ楽しく思っています。

また、私が内心すごく感動していることの1つに、各々の牛の経歴を農家さんが事細かに覚えている、ということがあります。母親はどの牛で、兄弟はどれとどれで、自分が何歳で何をしていたときに生まれた子か、子牛の頃にどんな病気をしたか、初産の時はすぐ種がついたが2産目の時はこんな病気をして種が長いことつかなかったとか、前回の乾乳の時も乳房炎をしたなど。

従業員というより、毎日一緒にいる家族のような存在であったとしても、常時100頭程いる農家さんであれば100人程の家族の経歴を覚えるのは至難の業だと思います。中には、影の薄い牛もいるかもしれませんが、それでも、診療時に質問すると、ほとんどの農家さんがすらすらと教えてくれるのには、本当に驚きますし、思い入れの深さを感じます。それと同時に、農家さんの貴重な財産であり、家族でもある牛を治療するときは、本当に気を引き締めて診断治療しなければと改めて感じさせられます。

私はこの仕事に就いてちょうど3年が終わりましたが、久しぶりに伺った農家さんでは、「あらまだ頑張っていたの〜！」や、わざわざ車を止めて「まだ元気にやっていたのか〜。」と声をかけられることがあります。嬉しい反面、この仕事を通して出会う人の中には、自分より遥かに大きな牛を相手に糞まみれになっている私を、気の毒そうに思っている方もおられるようで、憐

れむようにみられてしまうこともあります。

牛のうんちやおしっこが、目や口や長靴の中はもちろん、背中の中にまで入ってしまうこともあります。それでも意外に私は楽しく、至って元気に、毎日の新しいたくさんの発見に一喜一憂しながら、貴重な日々を過ごさせて頂いています。

もちろん、色々と思い悩むこともありますが、それでも結局最後は、一回しかない

人生、この仕事を選んで良かった、という結論に至っています。長年仕事を続けておられる農家さん方には、「たったの3年で？」と笑われてしまうかもしれませんが、これが今の正直な気持ちです。

岡山に来て3年、これまで出会ったたくさんの人や牛に、この場をお借りして感謝申し上げたいと思います。これからもどうぞ宜しくお願い致します！



岡山県畜産関係者名簿 (平成25年4月1日現在)

部 署	職 名	氏 名	部 署	職 名	氏 名	
畜産課 (21)	課長	若田 茂	岡山家保 家畜保健衛生課 (21)	所長	小田 頼政	
	副課長	竹田 人士		課長	江田 泰一	
	総括参事 (酪農飼料班長)	中塚 陽二郎		副参事	松長 清美	
	経営流通班			副参事	遠藤 広行	
	総括参事 (経営流通班長)	馬場 誠		主任	錦織 拓美	
	副参事	津寺 春良		主任	兒子 友美	
	主幹	岡 修司		主任	大賀 美智恵	
	主幹	池田 克美		主任	黒岩 力也	
	主任	三原 保江		主任	藤原 裕士	
	酪農飼料班			主任	出石 節子	
	副参事	齊藤 浩史		主任	澤井 紀子	
	主幹	森藤 賢司		主任	難波 かおり	
	主任	田中 健嗣		技師	森清 邦彦	
	主任	佐藤 静子		技師	福田 新	
	食肉鶏卵班					
	総括副参事 (食肉鶏卵班長)	吉元 和明		病性鑑定課	課長 (所長兼務)	(小田 頼政)
	副参事	井上 信治			特別研究員	大内 紀章
	主幹	塩田 鉄朗			特別企画専門員	額田 和敬
	主任	小田 亘			専門研究員	北村 直起
	衛生環境班				専門研究員	別所 理恵
	総括参事 (衛生環境班長)	菱川 雅弘			専門研究員	田原 鈴子
副参事	多賀 伸夫	研究員	橋田 明彦			
副参事	平田 祐介	技師	廣瀬 友理			
主任	西 淳子					
主任	いざさ 啓介					
備前県民局 (4)	総括副参事 (畜産班長)	川尻 鉄也	非笠家保 (10)	所長	河原 宏一	
(休)	主幹	植田 幹隆		次長	山田 徹夫	
	技師	吉田 由紀		副参事	岡田 ひろみ	
	技師	西村 祐枝		主幹	秦 守男	
備中県民局 (8)	臨時事務職員 (代替)	藤原 建紀		主幹	清水 淳也	
総括副参事 (畜産第一班長)	木曾田 繁			主任	馬場 彩	
主幹	金岡 孝和			主任	田中 静香	
主任	荒金 知宏			主任	紙谷 建志	
主任	梯 洋介			技師	田中 恵	
農業振興課	技師	山口 葵		技師	越智 春陽	
	主任	朝倉 麻由子				
美作県民局 (8)	総括副参事 (畜産第二班長)	中村 浩三	高梁家保 (9)	所長	田林 宏一	
	主幹	横内淳一郎		次長	森 尚之	
	農畜産物生産課長	広金 弘史		副参事	橋本 尚美	
	総括副参事 (畜産第一班長)	藤原 努		主幹	武縄 勝浩	
	副参事	多田 幸四郎		主幹	守屋 吉英	
	副参事	澤田 勝志		主幹	森分 哲彦	
	主幹	串田 晴彦		主幹	萱原 佳美	
	技師	田中 康裕		主任	篠田 剛	
	総括副参事 (畜産第二班長)	河原 貴裕		(休)	主任	黒岩 恵
	主任	中山 裕貴				

部 署	職 名	氏 名	部 署	職 名	氏 名	
真庭家保 (10)	所長	平野 充生	農林水産総合センター 々普及連携部 総務課 (畜産研究所駐在)	センター長	齊木 孝	
	次長	早瀬 文繁		副参事	行森 美枝	
	副参事	小阪 和正		主幹	岡田 雅之	
	副参事	松馬 定子		主幹	西村 江理子	
	主幹	坂部 吉彦		主任	樋口 久男	
	主幹	山内 章江		主事	殊井 麗子	
	主任	瀬尾 聡一				
	主任	横内 百合香				
	技師	光宗 仁美				
	技師	堂之本 琢人				
津山家保 (15)	所長	加藤 信介	々畜産研究所 (23) 経営技術研究室 (企画開発グループ)	所長	大塚 武宣	
	総括参事	大谷 啓介		副所長(改良技術研究室長)	栗木 隆吉	
	副参事	権代 将人		室長(特別企画専門員)	平本 圭二	
	副参事	澤田 健二		グループ長	砂原 一彦	
	副参事	牧野 俊英		専門研究員	脇本 進行	
	副参事	西川 真琴		専門研究員	岡田 英樹 (副所長兼務)	
	主幹	板坂 義昭		改良技術研究室 (育種改良研究グループ)	室長	片岡 博行
	主幹	高見 剛		グループ長	グループ長	佐々木 真也
	主幹	平井 伸明		研究員	研究員	岡本 雄太
	主任	片岡 まどか		研究員	研究員	小林 宙
	(休)主任	定森 淑子		(繁殖システムグループ)	グループ長	中原 仁
	主任	笹尾 浩史		飼養技術研究室 (生産性向上研究グループ)	専門研究員	有安 則夫
	主任	高崎 緑		研究員	研究員	立川 優子
	技師	金谷 真澄		研究員	室長(特別企画専門員)	秋山 俊彦
	技師	加藤 眞理子		(飼養管理研究グループ)	グループ長	滝本 英二
技師(代替)	申田 規子	研究員	研究員	福島 成紀		
		(環境研究グループ)	グループ長	金谷 健史		
			技師	長尾 伸一郎		
			技師	田辺 裕司		
			グループ長	水上 智秋		
			専門研究員	白石 誠		
			研究員	高取 健治		
				水木 剛		
			食肉市場(7)	場長	江本 正	
				次長(総務課長)	植野 慎治	
			総務課	主幹	吉田 克己	
				主任	田中 英彦	
			業務課	課長	山本 康廣	
				主幹	内田 啓一	
				主任	佐野 通	
			酪農大学校(2)	校長	山田義和(OB)	
				副校長	岸戸 武士	
			総務課	課長(副校長兼務)	(岸戸 武士)	
			教務課	課長(第一牧場長)	関 哲生	
			農政企画課	技師	高取 和弘	

農林水産総合センター（平成25年4月1日現在）

所 属	職 名	氏 名
普及連携部普及推進課 (086-955-0274)	副 参 事	内 田 義 男

農業普及指導センター
備前県民局農林水産事業部

所 属	職 名	氏 名
岡山農業普及指導センター 産地指導第一班 (086-233-9850) 産地指導第三班 (086-233-9851)	総括副参事(班長) 総括副参事(班長)	正 吉 輝 彦 三 宅 清
東備農業普及指導センター 産地指導第二班 (0869-92-5178)	総括副参事(班長)	貞 政 和 男

備中県民局農林水産事業部

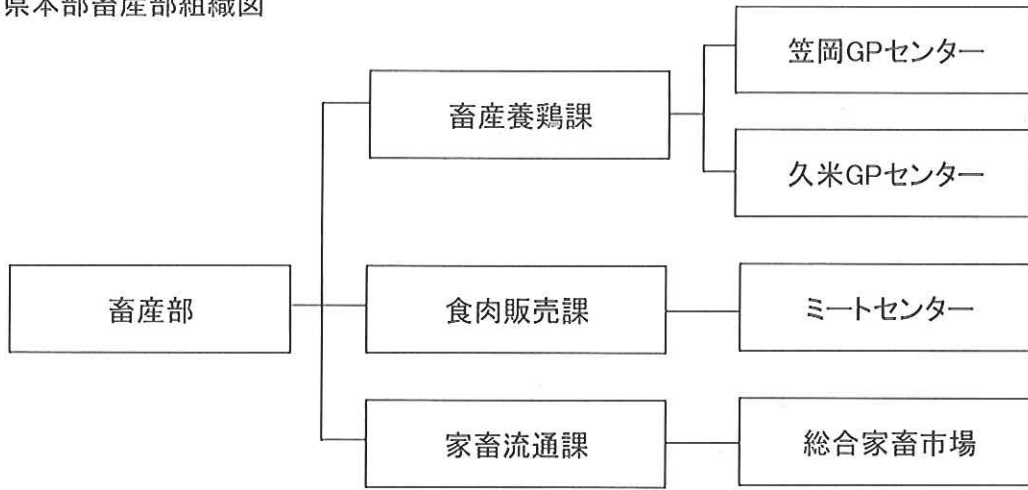
所 属	職 名	氏 名
倉敷農業普及指導センター 産地指導第二班 (086-434-7028)	主 任	宮 本 康 子
井笠農業普及指導センター 産地指導第一班 (0865-69-1653)	主 任	馬 場 裕 介
高梁農業普及指導センター 産 地 指 導 班 (0866-21-2851)	主 幹	石 川 和 人
新見農業普及指導センター 産 地 指 導 班 (0867-72-9179)	主 任	武 藤 多 佳 子

美作県民局農林水産事業部

所 属	職 名	氏 名
津山農業普及指導センター 産地指導第二班 (0868-23-1516)	主 幹	三 木 隆 司
真庭農業普及指導センター 産地指導第二班 (0867-44-7585)	主 幹	川 口 泰 治
勝英農業普及指導センター 産地指導第一班 (0868-73-4068)	副 参 事	大 谷 晴 美

家畜部	部長	西村 一 道
家畜課 TEL 086-224-5596 FAX 086-225-7064	課長	福原 肇
	課長補佐	影山 毅
	副主幹	日下 知加久
	技師	池山 歩惟
	臨時	浅越 衣利夏
生産獣医療支援センター TEL 0867-22-1500 FAX 0867-22-1194	所長	豊田 幸晴
	主幹	犬間 一郎
	副主幹	西川 達也
	主任	荒木 勇介
	技師	根木 慶彦
	技師	齋藤 愛
	技師	富永 山香
	嘱託	赤木 佐千子
	臨時	大賀 まりえ
南部家畜診療所 TEL 086-943-6888 FAX 086-943-7703	所長	亀森 泰之
	主幹	村田 一人
	副主幹	大谷 香里
	主任	久田 野歩
	技師	石井 さやか
西部基幹家畜診療所 TEL 0865-64-4141 FAX 0865-64-2926	所長	山本 幹男
	次長	前原 健成
	主幹	高市 直登
	主任	池山 亨
	技師	峠田 大志
	嘱託	岩原 幸治
	臨時	小野 好恵
西部家畜診療所 TEL 0866-22-2211 FAX 0866-22-0358	所長	金盛 隆志
	副主幹	西山 篤
	主査	大屋 卓志
	主査	江草 佳彦
西部家畜診療所新見支所 北部基幹家畜診療所 TEL 0868-26-1112 FAX 0868-26-6632	臨時	中笹 良恵
	副主幹	鴨井 敏則
	所長	山 護
	次長	西原 直
	次長	福原 稔
	主幹	本田 直樹
	主幹	正木 丈博
	副主幹	畦崎 正典
	技師	森田 康広
	技師	吉村 遥子
	技師	若槻 拓司
	技師	上総 亜由奈
	技師	渡邊 卓彌
臨時	戸田 寿子	
真庭家畜診療所 TEL 0867-44-2164 FAX 0867-44-5319	所長	植月 義友
	主幹	野矢 秀馬
	主任	水戸 康明
	臨時	古谷 和江
蒜山家畜診療所 TEL 0867-66-2517 FAX 0867-66-4626	所長	藤井 多加治
	主幹	森本 高輝
	副主幹	杉山 定
	副主幹	田村 展敏
	技師	藤井 蘭
	技師	松山 雄喜
臨時	宮本 美佐枝	

全農岡山県本部畜産部組織図

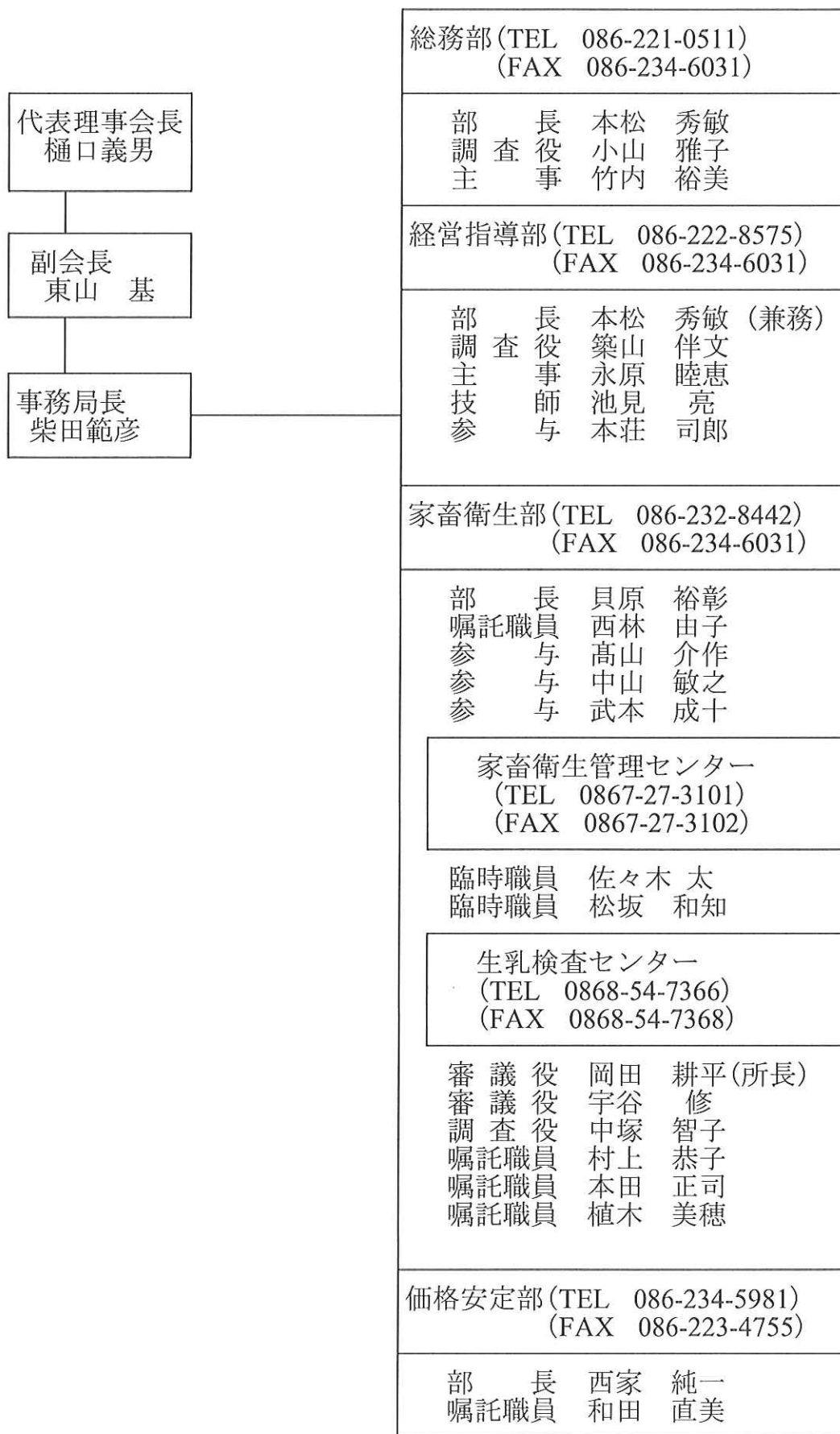


全農岡山県本部 畜産部 人事配置

平成25年4月1日現在

部・課	職名	氏名	備考
畜産部	部長	石原 正敬	
	次長	藤原 雅人	兼務
	次長	難波 智明	兼務
畜産養鶏課 (畜産 086-234-6884) (養鶏 086-234-6885)	課長	川崎 敦史	兼務
		暮地岩 有斗	
		石田 祥子	
		原 千秋	
		福島 美津子	
笠岡GPセンター (0865-62-5131)	センター長	川崎 敦史	兼務
久米GPセンター (0868-57-3911)	センター長	川崎 敦史	兼務
食肉販売課 (086-296-5033)	食肉販売担当 次長 課長 専任課長 副審査役	藤原 雅人	兼務
		西江 聡	
		太田 裕之	
		佐藤 茂	
		大森 康弘	
		西野 芳仁	
		榎場 勇貴	
		高屋 佐知子	
ミートセンター (086-296-5088)	センター長	堀田 文博	
		岡本 欣也	
		木下 貴博	
		中村 倫政	
		藤原 哲	
家畜流通課 (0867-42-5333)	課長 副審査役	柴田 憲志	
		小椋 一広	
		中村 健	兼務
		植田 淑江	
総合家畜市場 (0867-42-5333)	市場長	難波 智明	兼務
		中村 健	兼務

平成25年度 一般社団法人岡山県畜産協会組織図



岡山県畜産関係各種協議会名簿一覧

(平成25年4月1日現在)

名 称	会 長	事 務 局
岡山県産食肉地産地消推進会議	岡山県農林水産部長	岡山県畜産課
岡山県家畜人工授精師協会	延原 昭	岡山県畜産課
岡山県酪農乳業協会	東山 基	おかやま酪農業協同組合
岡山県産牛肉銘柄推進協議会	本松 允之	全農岡山県本部畜産部
岡山県産豚肉消費促進協議会	本松 允之	全農岡山県本部畜産部
岡山県養鶏協会	会長代行 山上 恭宏	烏城養鶏農業協同組合
岡山県ふ卵協会	山上 恭宏	岡山県農林水産総合センター 畜産研究所
岡山県装削蹄師会	平井 計行	岡山県農業共済組合連合会
岡山県養蜂組合連合会	吉村 信映	鈴木養蜂場
おかやま地どり振興会	横尾 和也	(有)アルム アルムの里
岡山県和牛子牛資質向上対策協議会	石原 正敬	岡山県畜産協会
岡山県畜産経営総合支援協議会	石原 正敬	岡山県畜産協会
岡山県馬事畜産振興協議会	樋口 義男	岡山県畜産協会
岡山県養豚振興協会	黒簀 忠章	岡山県畜産協会
岡山県地域未活用資源飼料化協議会	樋口 義男	岡山県畜産協会
岡山県コントラー協議会	石原 聖康	岡山県畜産協会

(有)哲多和牛牧場、経営発表で農林水産大臣賞

平成24年度全国優良畜産経営管理技術発表会（第52回農林水産祭参加行事）が3月6日（水）、東京都港区の機械振興会館で開催され、新見市の（有）哲多和牛牧場（肉用牛一貫経営）が最優秀賞の農林水産大臣賞を受賞されました。

本催しは、畜産協会等が行う支援活動を通じて明らかにされた、優秀な実績を収め、特色ある取り組みを行っている畜産経営等を表彰するとともに、経営の成果を支えた経営管理技術等について広く紹介し、畜産経営の改善に資することを目的として実施されています。

当日は、中央審査委員会により選考された12事例（酪農4、肉用牛4、養豚2、養鶏2）の発表が行われ、本県の（有）哲多和牛牧場は、『「千屋牛」の地域内一貫生産体制を支えて』と題して発表されました。



鳥取県・島根県・愛媛県・岡山県 畜産女性県外交流会の開催

平成25年3月21日、総社市三須のサンロード吉備路にて、中四国4県の畜産女性の県外交流会を開催しました。

今年で4回目となる県外交流会ですが、本年は、新たに愛媛県にもご参加いただき、計47名の出席となりました。

午前中は、各県代表による事例紹介を行い、それぞれの県の6次産業化の取組や消費拡大、また厳しい経営状況から後継者を得て、現在も前向きに畜産と向き合っている事例など発表いただきました。

午後からは、「アパレル業界から農業へ～消費者の顔が見える生産者を目指して～」と題して、茶師の下山桂次郎氏をお迎えし、ご講演いただいた後、3班に分かれて意見交換会を行いました。

6次化の取り組み方やT P P問題、後継者問題など多岐にわたった議論が行われ、「もう少し話がしたかった」と名残を惜しみながら、閉会を迎えました。



生乳集荷の「安全・安心」な輸送業務に取り組んでおります。

株式会社 きびじ酪農運輸 代表取締役 青江 一三

本 社 〒719-1156 総社市門田70-1 TEL(0866)93-8790

阿曾事務所 〒719-1103 総社市西阿曾前田193-4

TEL(0866)99-8300 FAX(0866)99-8301



訂正とお詫び

2013 2月号の〔家保のページ〕「生徒が家畜保健衛生所にやって来た！！」の記事の中で7ページ右段「動物看護師の資格は、平成27年度（平成28年度実施）の試験から公的資格（国家資格）となる予定で、産業動物に関する分野も試験内容に含まれるため、……」と記述しましたが、正しくは「動物看護師を目指す皆さんは、小動物だけでなく産業動物分野にも関心が高く、…」とすべきところでした。誤解を招く表現だったことを訂正し、お詫びいたします。

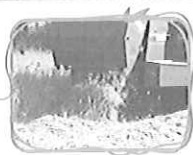
100th
ANNIVERSARY

おかげさまで ヤンマー100周年

家畜が好んで食べる、
高品質サイレーズづくりに!
YWH1500



ダイレクトカット



ウインドローづくり



ウインドローの拾い上げ

ヤンマー農機販売株式会社

岡山推進部 岡山県倉敷市亀山622
TEL086-428-5153

あとがき

発刊以来64年続く伝統のある「岡山畜産便り」を6年間担当させて頂きました。

ここで、後の方にバトンタッチ致します。長い間、おつきあい頂きありがとうございました。その間、出来る限り読者の方に読みやすい冊子にしたいと、いろいろな皆さんのご意見を頂戴して改善を図りながら発行してまいりました。

6年間で変えたことは①大きさをB5版からA4版にして文字を少し大きくしたこと。②年10回の発行を6回にしたこと。③発送を第3種郵便から宅配便に変更したこと。④表紙に県内の畜産農家の方をシリーズで掲載したこと。⑤各団体のOBの方・フレッシュ獣医師さんに仕事にまつわるエピソードを紹介してもらったことなどがあります。この間、編集後記に何を書いたら皆さんに最近の動きが伝わるのか、いつも頭を悩まし続けました。55回の中には駄作があり、読者から「もっとちゃんとしたことを書け」とご指摘を受けることもある一方で、「送られてきたらまず、編集後記から読んでいよ」と温かい声をかけられたり、手紙で内容のまちがいを指摘されたり、某総会の

開会挨拶で編集後記の内容を引用してもらったりして、そのことがありがたく、やってきてよかったと思えました。長く畜産界へ身を置き、畜産物の美味しさが食べ物の中で一番と思っている一読者として、今後は「岡山畜産便り」が送られて来るのを首を長くして待ち、今のこの厳しい情勢の畜産業界がどのようにして難局を乗り越えて行こうとしているのか読ませて頂くのを楽しみにしていますので、いつまでも、いつまでも、いつまでもこの冊子の発行が続くことをお祈りして、ペンを置きます。(M・Y)

岡山畜産便り 4月号(新年度号)

第64巻第3号(通巻644号)
平成25年4月25日発行
定価250円(消費税・送料含)

発行人 樋口義男 編集人 柴田範彦
発行所 一般社団法人 岡山県畜産協会
〒700-0826 岡山市北区曙屋町9-18 岡山県農業会館5階
TEL 086-222-8575 FAX 086-234-6031
印刷所 岡山県農協印刷株式会社

動物用医薬品
総合商社

MPアグロ株式会社

取扱品目

動物用医薬品、医薬品、飼料添加物、混合飼料、
動物用機器・機材、土壌検査器具・機材 他畜産関連商品

事業所一覧

本社	〒061-1274 北海道北広島市大曲工業団地6丁目2番地13	TEL 011-376-3860	FAX 011-376-3755
岡山オフィス	〒700-0822 岡山県岡山市北区表町3丁目5番1号	TEL 086-224-1811	FAX 086-224-1819
リサーチセンター	〒703-8256 岡山県岡山市中区浜1丁目10番5号	TEL 086-270-9510	FAX 086-270-8371
衛津物流センター	〒709-2122 岡山県岡山市北区御津吉尾1番地1	TEL 0867-24-4816	FAX 0867-24-4882

【中国営業部】

岡山支店 〒709-2122 岡山県岡山市北区御津吉尾1番地1 TEL 0867-24-4880 FAX 0867-24-4889

尾道支店 広島支店 山口支店 鳥取支店 鳥根支店

【四国営業部】高松支店 徳島支店 松山支店 宇和島支店

【近畿営業部】京都支店 大阪支店 和田山支店 明石支店

【北海道営業部】札幌支店 函館支店 旭川支店 帯広支店 北見支店 釧路支店 東京支店

【東北営業部】青森支店 八戸支店 秋田支店 盛岡支店 一関支店 山形支店 仙台支店 郡山支店

【北九州営業部】福岡第一支店 福岡第二支店 熊本支店

【南九州営業部】宮崎支店 都城支店 鹿児島支店 鹿屋支店

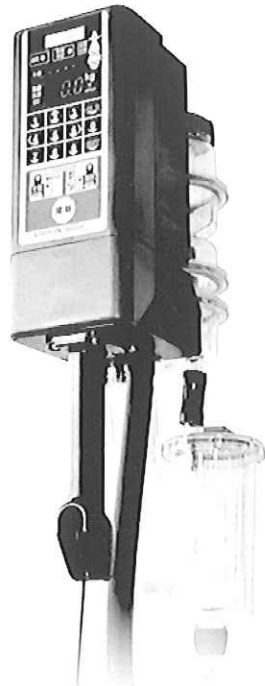
【食品営業部】福岡食品支店 鳥栖食品支店 唐津食品支店

ORION www.orionkikai.co.jp

乳量計付自動離脱装置

MMD500

「進化」を確かめる。
「真価」を体感する。



精密飼養管理システム

CM20P

Challenge Man20 Precision

乳量計付自動離脱装置

MMD500



飼養管理PCソフト
ビジュアルマネジメント
プログラム(VMAP)

粗飼料配合飼料自動給飼機

MAX Feeder

配合飼料自動給飼機

MAX Feeder HID(ハイジ)

中国オリオン株式会社

岡山営業所 〒702-8022 岡山市南区福成2丁目14番23号

津山営業所 〒708-0825 津山市志戸部712番地

TEL.086(263)1221

TEL.0868(22)1561

岡山畜産だより

平成二十五年四月号(新年度号)

(第六十四巻第3号通巻六四四号)

平成25年4月25日発行

岡山市北区磨屋町九一十八 岡山県農業会館
発行所 岡山県畜産協会

定価 一部 二五〇円(送料共)
年間 一五〇〇円(送料共)